

赴任挨拶

医療技術部 放射線科
技師長 津田 岩雄

本年4月に宇部リハビリテーション病院に赴任してまいりました津田岩雄です。もともと実家が床波で、懐かしい場所での就職となりました。

前任地の吉備高原医療リハビリテーションセンターでは6年間お世話になりました。特に脊髄損傷患者さん等の画像技術を学んでまいりました。

宇部リハビリテーション病院では、技師2名で頑張っております。件数の割には忙しい日々を送っております。スタッフの顔もやっと覚えたところ。管理職としていろいろな会議、書類作成、労務管理等慣れない業務に追われる日々です。早く業務に慣れていきたいと思っています。

ところで、山口県に帰ってきて思うのが「言葉による癒し」です。患者さんと職員が方言で会話をします。そんな言葉の数々を聞き、私自身癒されています。

また、白土海水浴場、山陽小野田市には焼野海岸、少し西に行くと関門海峡を一望でき、さらに国東半島まで見渡せます。夕陽のきれいな光景に感動しました。角島大橋の絶景、青い海に向かって赤い鳥居が連なる元乃隅神社、そして松陰神社のある萩、帰ってきて良かったなと思う瞬間でもあります。

今後は、内部でのコミュニケーションはもちろん、部外でも各部署の方とのコミュニケーションを大事にしようと心掛けています。そして患者さんに役に立つ画像、優しい接遇を目標に日々精進しようと思います。放射線科にお寄りの節は、一声かけてくださればうれしく思います。これからもよろしくお願い致します。

山口県病院協会より優良職員表彰を受けました!!

令和4年度病院優良職員表彰伝達式を行いました。この表彰は、一般社団法人山口県病院協会から、県内の病院に従事する勤務成績の優秀な病院職員に贈呈されるものです。伝達式では、松永病院長から受賞者に表彰状が授与され、今後のさらなる活躍を期待する旨の祝辞がありました。

当院では毎年職員表彰を受けており、今年は看護師の富田智恵子さん、介護福祉士の下瀬義雄さんが受賞されました。



小児リハビリ外来の紹介



皆様はじめまして。

昨年4月から当院小児科に勤務しております友近喜代子と申します。毎週水曜の午後を担当しております。息子と3匹の猫が大好きな甘やかし母さんです。どうぞよろしくお願いいたします。今回は私の紹介とともに、当院で行っている小児リハビリについてご紹介します。

小児リハビリと聞くと、麻痺などの運動機能障害のあるお子さんのリハビリを思い浮かべる方が多いと思いますが、発達面に不安のあるお子さんに対してのリハビリも行っており、当院でも利用者の半数以上を占めています。

例えば、

- ・気持ちの面（かんしゃくがひどい、泣き出したら止まらない、不安が強いなど）
- ・人とのかかわり（人見知りが激しい、友達と上手く関われない、注目を嫌がるなど）
- ・日々の事（多動、落ち着きがない、こだわりが強い、切り替えが苦手、
苦手なことはやりたがらないなど）
- ・言葉（言葉が遅い、発音が不明瞭、吃音がある、言葉でのやりとりが苦手など）
- ・学習面（集中力がない、読み書きが苦手、学習についていけないなど）
- ・運動面（転びやすい、姿勢が崩れやすい、ジャンプなど運動が苦手、手先が不器用な

子どもが成長していく中で、様々な場面で色々な心配事が出てくると思います。また、お子様自身も失敗体験から消極的になってしまったりもします。

当院ではセラピスト（理学療法士、作業療法士、言語療法士）、小児科医がお子様の状況を分析し、その子にあったリハビリを行っています。リハビリというと「訓練」→きつそうと思われがちですが、様々な遊びを通して楽しみながら行っています。

友近医師



リハビリスタッフとのカンファレンス

